

「全ての女性が健やかに輝く未来社会」と「健康な次世代の創出」を目指して

～ 産科婦人科館出張 佐藤病院が取り組むSDGs ～

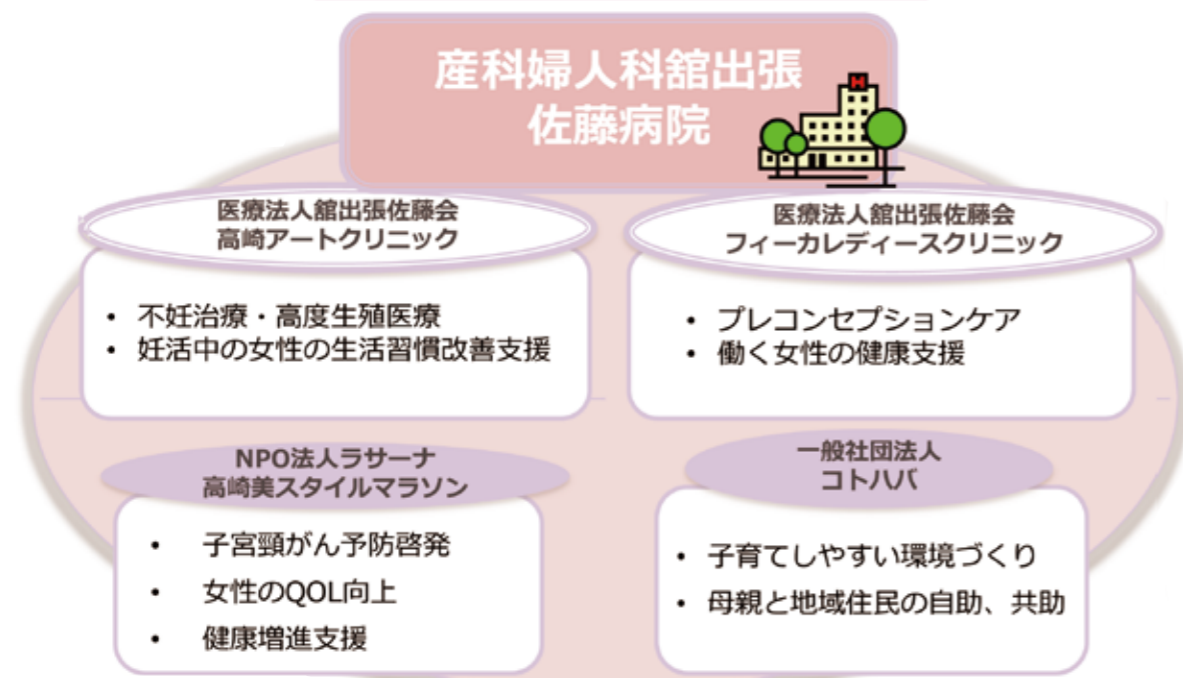
全ての世代の女性に寄り添う佐藤病院グループであるために

「SDGs」とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193ヶ国が2016～2030年の15年間で達成するために掲げた目標のことです。世界が抱える問題を解決し変革させるための17のゴールと、169のターゲットからなり、この取り組みは国連を中心にいまや世界各地に広がっています。「すべての女性を健康で美しく」をスローガンに掲げる当院では、かねてからの取り組みをSDGsとして整理しなおしました。「3. すべての人に健康と福祉を」「4. 質の高い教育をみんなに」「5. ジェンダー平等を実現しよう」というSDGsにおける3つの開発目標は、当院の取り組みの基本と合致するものです。当院のみならず、佐藤病院グループ全体として女性の生涯に寄り添い健康を守ること、ひいては誰もが平等で幸福な、持続可能な世界を実現していきます。

佐藤病院グループの取り組み

佐藤病院グループは、女性の人生のさまざまなステージに寄り添い、すべての女性が自らの健康を守り、妊娠出産を経てからも、安心してのびのびと子育てできる環境づくり、地域づくりに貢献していきます。

<江戸時代より続く女性の専門病院>



佐藤病院 SDGs方針

- ① 医療技術・施設設備・環境・職員の質の向上で、女性のQOLをサポートする
- ② たゆまぬ向上心で、自己の成長と女性の健康に寄与する
- ③ 社会貢献活動を通して、生涯学習の機会を促進する
- ④ 「できること」をやるのではなく「やった方が良いこと」を積極的に行う
- ⑤ SDGsの達成に貢献する活動で、さらなる職員・地域・病院の相互発展を図る

第2回「ジャパンSDGsアワード」

特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞

「ジャパンSDGsアワード」はSDGsの達成に向けた企業・団体等の取組を促し、オールジャパンの取組を推進するために2017年に創設されました。SDGs達成に導く優れた取組を行っている企業・団体等をSDGs推進本部として表彰するものです。



当院は、第2回「ジャパンSDGsアワード」において、特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞いたしました。2018年12月21日に総理大臣官邸にて表彰式が開催され、安倍晋三内閣総理大臣からは冒頭の挨拶で「(前略)受賞された皆様は、SDGsの推進を通じ、豊かで活力ある未来像をつくっていくトップランナーです。(中略)本アワードを契機として、受賞団体同士を始め、多様なアクターがパートナーを組んで、知恵と行動を寄せ合い、SDGsをより一層推進していただくことを心から期待(後略)」との言葉がありました。院長・佐藤は「当院では『すべての女性が健やかに輝く未来社会』を目指して、生涯を通じた女性の健康・活躍支援、健康教育、次世代に繋ぐ地域環境整備に力を入れてまいりました。この度、これまでの活動が認められSDGsアワード特別賞を受賞できたことはとてもうれしく、また今後の活動目標を再認識するよい機会となりました」と感想を述べています。当院の受賞テーマである『「すべての女性が健やかに輝く未来社会」形成モデル～産婦人科を軸に健康な次世代の創出とライフサイクル全般に通じた女性包括支援～』において、更なる貢献と開発目標の実現に励んでまいります。

当院では、グループとしての理念・基本方針のもと、SDGsの達成に貢献する活動に今後も積極的に取り組み、次世代が健康に活躍できる社会の実現を目指していきます。